

山岳友の会会報

2020年4月 第37号



蝶ヶ岳の朝陽 撮影：荻野 秀夫

も く じ

新任のご挨拶	副会長 熊谷 久	2
第46回現地研修会（乗鞍）	報告1 西 和典	2
	報告2 前田 雅志	3
「山人生 いい加減～登山家・高橋和之の歩んだ道～」出版記念対談		
	報告 渡邊 修	3
追悼 神谷 圭子さん	酒井 國光	5
2020年度通常総会資料		6

新任のご挨拶

信州大学山岳友の会 副会長(見習い) 熊谷 久

陽春の候、信州大学山岳友の会々員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。2020年度の通常総会において、私が本会の副会長に選任されましたので、新任のご挨拶を兼ねまして総会の報告を担当させていただきます。

全国的に新型コロナウイルスが蔓延する中、4月4日(土)の15時から松本市駅前会館において、2020年度信州大学山岳友の会通常総会が開催されました。議長には、会員の中から横田耕太郎さんが選出されて、第一号議案から第三号議案までの議事進行にご尽力をいただきました。議案説明は、本会の運営委員長である小林久雄さんが担当されて、2019年度の事業報告をはじめとした全ての議案に出席者の賛同をいただきました。なお、監査報告は、当会の監事である山田直さんから適切な会計処理であることの報告をいただいております。議決された議案等につきましては、別添の資料をご覧ください。



総会に引き続いて行われました憧れの森講演会は、信州大学・全学教育機構の浅野郁さんに「ボルネオ島熱帯雨林で繰り広げられるタネを食べる昆虫と食べられたくない樹木の攻防」のタイトルで、日頃の研究成果などをパワーポイントにより分かり易くご説明いただきました。聴講者にはよほど興味を引く講話内容だったようで、浅野さんに対する質問が例年になく発せられまして、楽しくも有意義な講演会であったことをここに報告いたします。

例年であれば、総会の後に盛大な懇親会が催されるはずですが、新型コロナウイルス感染防止対策に協力して、今年度は中止となりました。常日頃から品行方正に努められている多くの会員は家路を急ぎましたが、私は数名の会員に、某“や○じ”でヒソソりと副会長就任祝いをしていただきました。

私事ですが、平成25年の4月7日(日)に信州大学理学部C館で開催された総会に参加して、当時の副会長であり、私を当会に導いてくれた市川荘一様の講話を拝聴した時が当会への初参加でした。その後、多くの現地研修会や憧れの森講演会などに参加させていただき、山を愛する皆様の足元に少しでも近づけたことに感謝申し上げます。“どんぐりころころ 友の会 誘われ 入って さあ大変”となりましたが、今後ともよろしく願いいたします。

【写真：荻野 秀夫】

第46回現地研修会(乗鞍)報告1

西 和典

第46回現地研修会が2月22日(土)、23日(日)に信州大学乗鞍ステーションで開催されました。私は松本駅から乗せていただき、15時頃に乗鞍ステーション到着。勉強会の開会前、まず、昨年12月にお亡くなりになった中村圭子さんに黙祷を捧げました。今年の勉強会は映画「氷壁」(1958年公開)の上映会。私はこの映画を観るのは初めてでした。実際、劇中の喫煙率の高さに驚き、あの時代の登山を知るみなさんの解説(つつこみ!?)など聞きながら、楽しく鑑賞できました。私が現在勤務している三重県の神戸高校(かんべこうこう)はナイロンザイル事件の三重県岩稜会ゆかりの高校です。ちょうどこの年末に地元ケーブルテレビ

の特集で、現役の神戸高校山岳部員と当時の岩稜会会員の皆さんとの対談の収録がありました。あの切断事故の現場にいた沢田さんや、その後の捜索やザイルの実験をした岩稜会会員の皆さんとお会いしたところでもあったので、感慨深く観ることができました。

映画鑑賞の後は鍋を囲んでの交流会でした。今回もみなさんの楽しい山の話しを聞くことができました。

例年に比べ雪が少なく野外活動などできるのだろうかと思っていましたが、乗鞍高原には雪が降り出し、23日には結構積もりました。朝方、せせらぎの湯に入ってやろうと思いましたが、施設は雪の中、冬季閉鎖で入れませんでした。朝食の後ステーションを掃除し、松本駅まで送っていただきました。



三重県からの参加なので研修会に参加できる回数は少ないのですが、これからも参加して諸先輩方の楽しい体験談を聞かせていただきたいと思います。

第46回現地研修会（乗鞍）報告2

前田 雅志

2月22日(土)～23日(日)参加20名にて現地研修会を実施。
研修に先立ち昨年12月に亡くなった中村圭子氏を悼み蝶ヶ岳に向かい黙禱を捧げました。



今回は井上靖の小説「氷壁」の映画鑑賞。
驚いたのは異常に多い喫煙シーン、全編喫煙だらけと言っても過言ではない。昭和の映画作りの演出に煙草は重要な小道具だったのでしょ…。

原作のナイロンザイル切断事件に係る人間ドラマは参加者皆の知るところである。内容より次々と映し出される東京、上高地の景色に過ぎ去りし昭和を回顧。山行の記憶、装備の变革など懐かしさに浸りました。また忘れかけていたデュブラの詩や雪山賛歌が流れると更なる懐かしさを覚えました。また主人公魚津の勤務先上司の常盤大作が心に残った…。

鑑賞後は夕食会へ。再会と近況報告に話が弾み楽しいひと時を過ごしました。翌朝は小雪、乗鞍の蜂々を仰ぎみることが出来ませんでした。再会を約し閉会致しました。

蛇足ですが原作から察するに魚津の勤務先は港区新橋一丁目界限と思われる。不肖、前田が会社員の第一歩を踏み出したのも新橋一丁目。魚津への共感と氷壁の舞台の一つが新橋にあると思いを巡らした過ぎ去りし46年前の日々が蘇りました。

【乗鞍研修写真：荻野 秀夫】

「山人生 いい加減～登山家・高橋和之の歩んだ道～」 出版記念対談（高橋和之×小林千穂）

渡邊 修

2020年も早1月が過ぎました。会員の皆様如何お過ごしでしょうか？

若輩(58歳)の小生が言うのも何ですが…！歳のせいかな年々一日が過ぎるのが早いと感じる様になりました。

今年は各地で雪が降らない、氷が張らない、真冬日がない、1月の平均気温が過去最高等々…！記録づくめの暖冬の中、晴天に恵まれた2月1日(土)14時から松本中央の信

毎メディアガーデン 1 階ホールにおいて、「山岳友の会」のメンバーで参与の「ダンプさん」こと高橋和之氏と静岡県出身の山岳ライターの小林千穂さん(元涸沢ヒュッテの従業員)との「山人生 いい加減～登山家・高橋和之の歩んだ道」出版記念(信濃毎日新聞社主催、涸沢ヒュッテ協賛)の対談が行われました。



開場の 13 時 30 分には用意された 200 席がほぼ満席状態の盛況ぶり。対談前には追加で席が設けられダンプさんの人気度が覗えました。

対談に先立ち穂高をこよなく愛した男！今は亡き「はっちゃん」こと宮田八郎氏(はちプロダクション)制作の短編映画「涸沢賛歌」穂高連峰～涸沢の四季を通した素晴らしい映像が上映され、人々を穂高の峰々、涸沢へと誘いました。

上映が終わるとちょっと紅潮した顔で登壇したダンプさん！どうやら少し前に信濃毎日新聞社のお偉いさんからちょっとお酒をいただいたとか…！後に聞いた話ではお酒の後にはビールも飲んでいたとか！景気づけの一杯といったところでしょうか？

対談では、生い立ちから家庭の話(奥さんとの結婚話等)、会社の話、世界の名峰登頂、毎年滞在する涸沢ヒュッテや山小屋の話、ヒマラヤの世界第 6 位の高峰チョ・オユーからパラグライダーで空を飛び、最高所飛行の世界記録を樹立した話等々ユーモラスたっぷりに盛り沢山の話をされました。

最後に「山という素晴らしい自然の中にいると心が洗われ素直な気持ちになることができる。高い山だけでなく身近にある山を大切にしながら山の魅力を感じてほしい。過去に拘らず、常に未来志向でポジティブに！」と締めくくりました。会場からの何点かの質問にも答え予定された 1 時間 30 分は盛況のうちにあっという間に終了となりました。

豪放磊落かつ繊細にて緻密、誰にでも細かな気遣いをする「ダンプさん」今日の対談でまた多くの参集者の心を掴んだことでしょう。

会員一同益々のご活躍を祈念しております。

さてこのままでは終わらないのが「山岳友の会」、「せっかち集団」です。参加された者で「ダンプさんの慰労会」を松本市内で計画しました。

花より団子？トークショー終了後足早に懇親会場の市内「やそじ」を目指します。

主賓のダンプさんは主催者の信濃毎日新聞社との宴席に出席のため遅れての参加になりました。

一次会場の「やそじ」松本市大手 4 丁目 12-9 (Tel 0263 (33) 0422) は仲睦まじい夫婦が営み料理の品数も多く、美味しくリーズナブルな落ち着いたお洒落な居心地の良いお店です。「山岳友の会」でも総会等の後の二次会会場として常にお世話になっているお店です。ご無理を言って宴会を 16 時開始でお願いしたところ快く応じていただきました。

駆けつけてくれた参加者は会員、ダンプさんの友人等を含め総勢 18 名、会場の奥座席は満席(過去 23 名入ったこともありましたが…！)となりました。

主賓がいなくても盛り上がるのが「山岳友の会」の呑兵衛衆、初めてお目にかかる方もいたことからまずは自己紹介。美味しい料理とお酒に舌鼓、ビール、焼酎、日本酒、ワインは見る

見るうちに空となり、空き瓶の山となりました。話の花も咲き宴もたけなわな頃に漸く「ダンプさん」が到着、宴会は益々盛り上がりました。毎回思うのですが一体どの位呑むのかなあ…！予算内で終わるのが気がなります…！

20 時を回り十分堪能したところで二次会へ。

二次会会場は遠路春日井から参加された坂本さんに段取



っていただいた南松本駅前の「ゆざわ」松本市双葉1-4(Tel0263(25)2008))15名が参加され、鹿肉、鯨肉、寿司と美味しい料理とお酒に盛り上がり、22時過ぎにお開きとなりました。

小生は今回、残念ながら飲酒が出来ずに残念でしたが、参加された皆さん6時間以上に渡り飲み続けていただき盛況に慰労会ができました。大変お疲れ様でした。

ダンプさん！主賓にもかかわらず散財させてしまい申し訳ありませんでした。

楽しい対談、楽しい宴を有難うございました。

レポーター：ペンネーム：瀬祭036(DASSAI036)ことドラエモン

追悼 神谷 圭子さん

遠く茨城の地よりご冥福を祈ります

酒井國光(在茨城県)

とある宴席でのこと、神谷さんとは隣り合わせの席であった。いろいろ話した中で、私が「蝶ヶ岳ヒュッテには強烈な思い出があるのです」と言うと、「えー、うちの従業員何か失礼なことをしましたか」と驚き、真剣な眼差し。「いや、大したことではないのですが…」と、ある夏の日のことを話した。

その時はヒュッテに二泊してひとりで山を見に行っていた。なか日は朝食後、ヒュッテから北へしばらく行って穂高側のハイマツの中に寝そべり、終日刻々と変化する槍穂高の山々を見て過ごした。ここから見える山々には、若い日の思い出が沢山詰まっているのだ。

満足してヒュッテに引き上げ、その日の夕食のこと。指定された食卓のメインディッシュは「ハンバーグ」だった。向かいの席のそれは「ウナギ」(一泊目はウナギで連泊はハンバーグと配慮されていたようだ)。当時の私は「ハンバーグなどは女子供の食べるもの」と、口にすることが無かったのだ。「エー、ハンバーグかよ」としばし逡巡…。食べざるを得ないかと、ひとくち口にした。その時遅れていた向かいの夫婦が入ってきた。食卓を見たたん、奥さんが「えー、私ウナギは駄目なの」と宣った。私(えー、何であと数秒早く来なかったんだよ)、(喜んで取り替えてあげたのに)……。こんな話しをして安堵の顔に戻っていただいた。

若くして伝統のある山小屋の経営を任された圭子さん、責任感の強い、実行力のある人だったのだなあ。ある秋の一日、奥原仁作さんを中心に徳本古道の道普請に出かけた。島々谷を遡り徳本峠から蝶ヶ岳方面に向かう登山者は、まず皆無と思われる昨今だが、圭子さんも参加した。丸太の橋を架ける土台の蛇籠を造る。細い体で黙々と働く神谷圭子さんの姿が強烈に目に焼き付いている。合掌



中央の青いシャツが圭子さん

(記:2020年3月4日)

〈2020 年度通常総会資料〉

2019 年度友の会事業報告

設立 9 年目の 2019 年度も様々な事業をほぼ計画通りに開催することができました。

以下、主な事業について報告します。

○総会

通常総会 3 月 30 日(土) 松本市駅前会館 36 名参加 (委任状 54 通)

○運営委員会

第 14 回運営委員会 3 月 2 日(月) やそじ 14 名参加

○憧憬の森講演会

第 15 回憧憬の森講演会 3 月 30 日(土) 松本駅前会館 38 名参加

「北穂高小屋のあれこれ」講師：小山 義秀氏 (本会会員)

第 16 回憧憬の森講演会 11 月 30 日(土) 松本駅前会館 29 名参加

「火山マイスター」講師：澤田 義幸氏 (本会会員)

○現地研修会

第 42 回現地研修会 5 月 25 日-26 日 「小谷温泉と山菜を知る」 10 名参加

第 43 回現地研修会 6 月 20 日-22 日 「花の早池峰山と賢治記念館、そして日本三景の松島」
17 名参加

第 44 回現地研修会 8 月 29 日-30 日 「燕岳&常念岳登山」 11 名参加

第 45 回現地研修会 9 月 17 日-18 日 「火山マイスターと行く御嶽山」 16 名参加

第 46 回現地研修会 2 月 22 日-23 日 「乗鞍研修」 20 名参加

○会員集会 11 月 30 日(土) 松本駅前会館 28 名参加

○上高地・乗鞍キッズキャンプ 8 月 2 日 キッズ 18 名 会員スタッフ 7 名参加

○第 25 回上高地談話会 (第 8 回潤沢談話会) 7 月 11 日-12 日 潤沢ヒュッテ 21 名

○会報の発行 4 回発行 (4 月 15 日、7 月 22 日、10 月 10 日、1 月 10 日)

○上高地ステーションの整備を実施、随時

2019年度 友の会 会計報告



(期間:2019年4月1日 - 2020年3月31日)

収 入	支 出
前期繰越金	
会費	管理費
正会員 84名	事務用品 ¥397
家族会員 3家族	DM便・郵便 ¥57,916
学生会員 5名	管理費計 ¥58,313 …⑥
賛助会員 12口	事業費
年会費計 ¥120,000	現地研修会 ¥1,758,398
¥389,500 …②	キッズキャンプ ¥121,291
	上高地談話会 ¥219,932
事業費	事業費計 ¥2,099,621 …⑦
現地研修会 ¥1,435,000	
キッズキャンプ ¥18,000	会議費
上高地談話会 ¥210,000	総会会場使用料 ¥3,690
事業費計 ¥1,663,000 …③	総会茶菓子代 ¥3,162
	憧憬の森講演会会場使用料 ¥3,760
その他	憧憬の森講演会御茶代 ¥2,460
寄附 ¥30,000	会議費計 ¥13,072 …⑧
事務手数料 ¥500	
その他計 ¥30,500 …④	その他
	供花代 ¥16,500
	供花代振込手数料 ¥220
	その他計 ¥16,720 …⑨
収入合計 (①～④合計) ¥2,460,474 …⑤	支出合計 (⑥～⑨合計) ¥2,187,726 …⑩
差引残高 (⑤－⑩)	
¥272,748	次期繰越金
¥23,500	2020年度会費他(次期計上)
¥296,248	残高計

監査報告書

2019年度信州大学山岳友の会の収支決算について、関係書類等に基づき監査したところ、間違いなく処理されていたので報告します。

令和2年3月26日

監事 藤澤高穂 
監事 山田直 

2020 年度信州大学山岳友の会事業計画（案）

基本方針

友の会は設立 10 年目を迎えますが、次の基本事項に基づき事業を計画します。

1. 信州大学の山岳研究（信州山の環境研究センター）を支援します。
2. 会員相互の親睦と、心を豊かにする講座・研修会並びに講演会を開催します。
3. 大学と市民を結ぶ取り組みを考えます。
4. 会員を増やし、会の活動を充実します。
5. 会報は、会員の協力をいただき 4 回発行します。

事業計画

期 日	内容等	対象者	備考（場所等）
4 月 4 日(土)	通常総会&憧れの森講演会 「ボルネオ島熱帯雨林で繰り広げられるタネを食べる昆虫と食べられたくない樹木の攻防」 浅野 郁 氏（信州大学・全学教育機構）	会員	松本市駅前会館
7 月 15 日(水)～ 7 月 17 日(金)	第 47 回現地研修会 「尾瀬ヶ原と至仏山」 燧ヶ岳と至仏山の登山は選択 (6 月は至仏山登山禁止)	会員	尾瀬沼ヒュッテ 至仏山荘
7 月 7 日(火)～ 7 月 8 日(水)	第 26 回上高地談話会(第 9 回涸沢談話会) 「山に降る雪はどうなるのだろうか」 鈴木啓助会員	会員	涸沢ヒュッテ
8 月 5 日(水)～ 8 月 6 日(木)	第 48 回現地研修「明神で大人キャンプ」 ※翌日希望者は徳本峠へ	会員	上高地 ST
9 月 9 日(水)～ 9 月 10 日(木)	第 49 回現地研修会「黒斑登山」 ※登山（初日）のみ参加も可能	会員	温泉泊 事前申込
11 月 28 日(土)	信州フィールド科学賞授賞式・講演会・忘年会 憧れの森講演会「南極の環境保全」 鈴木啓助会員	会員	松本駅前会館
1 月 20 日(水)～ 1 月 21 日(木)	第 50 回現地研修会「美ヶ原冬空満喫」	会員	王ヶ頭ホテル
3 月 3 日(水)～ 3 月 4 日(木)	第 51 回現地研修会「春待ち望む雪山」	会員	西穂山荘

2020年度 友の会 収支予算(案)

収入の部

(円)

科 目	本年度予算額	前年度決算額	増 減	備 考
繰越金	272,748	377,474	△ 104,726	前年度繰越金
会費	386,500	389,500	△ 3,000	正 会 員:83名 249,000 家族会員:3家族 15,000 学生会員:5名 2,500 賛助会員:12口 120,000
事業参加費	2,000,000	1,663,000	337,000	
雑収入	0	30,500	△ 30,500	
計	2,659,248	2,460,474	198,774	

支出の部

管理費	130,000	58,313	71,687	メール便等 80,000 消耗品費 50,000
事業費	2,000,000	2,099,621	△ 99,621	
会議費	20,000	13,072	6,928	総会 10,000 講演会 10,000
雑費	509,248	16,720	492,528	
計	2,659,248	2,187,726	471,522	

友の会役員(2020年度) (案)

会長	山口 孝
副会長	<u>熊谷 久</u>
	竹原 文子
運営委員長	小林 久雄
運営委員	栗澤 徹
	<u>奥原 仁作</u>
	小林 実
	<u>佐々木 明彦</u>
	澤田 義幸
	島村 芳太郎
	立花 裕美子
	中村 秋男
	細萱 繁
	松田 俊雄
	渡邊 修
監事	藤澤 高穂
	山田 直
顧問	青柳 薫
	小林 銀一
参与	市川 荘一
	高橋 和之

信州大学山岳友の会会報 第 37 号
発行日：2020 年 4 月 16 日
発行：信州大学山岳友の会
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
信州大学山岳友の会事務局
TEL：0263-37-3332
FAX：0263-37-2438
E-mail：suims@shinshu-u.ac.jp